

12/3(木)・12/4(金)の行事

報道発表資料の配付日時 令和2年11月16日(月) 11時00分

<p>発表項目 (行事名)</p>	<p>令和2年度「札幌医科大学医療現場ニーズ発表会」の開催について ～医療現場のお困り事を解決する製品開発に向けて～</p>
<p>開催概要</p>	<p>【開催趣旨及び開催概要】 今後成長が期待されるヘルスケア関連産業（医療・福祉介護機器）への道内ものづくり企業の参入へ向け、札幌医科大学の医療スタッフのニーズとものづくり企業とのマッチングを促進するニーズ発表会を次のとおり開催します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>○日 時：第1回 令和2年12月3日(木) 14:30～15:30 第2回 令和2年12月4日(金) 14:30～15:30</p> <p>○会 場：第1回、第2回ともオンライン（ZOOM ウェビナーでの配信）により開催</p> <p>○共 催：北海道、札幌医科大学、ノーステック財団、北海道医療・福祉機器等関連産業ネットワーク、札幌商工会議所</p> <p>○参加費：無料</p> <p>○定 員：各回100名</p> <p>○参加費：道内ものづくり企業、IT 企業等</p> <p>○内 容</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ニーズ発表（21件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 12月3日(木) 10件 <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドから患者の落下を防止する、感染予防型の抑制バンド ・杖の代わりにもなる点滴スタンド など ・第2回 12月4日(金) 11件 <ul style="list-style-type: none"> ・患者装着用、軽量かつ小型心電図モニター ・誤薬防止支援キット など <p>札幌医科大学の医療スタッフより製品開発や改良につながるような現場の様々な課題やお困り事を発表（ニーズ詳細についてはリーフレット裏面をご覧ください）。</p> </div>
<p>報道(取材)に当たってのお願い</p>	<p>医療現場の生の声から、道内ものづくり企業が製品化を目指すユニークな試みなので、積極的な取材等をお願いします。</p>
<p>本件に関する問い合わせ先</p>	<p>札幌医科大学 附属産学・地域連携センター 担当：板垣 事務局研究支援課 担当：南澤 TEL 011-611-2111（内線：21570、21590）</p>

令和2年度 札幌医科大学 医療現場ニーズ発表会

道内企業のヘルスケア関連分野への参入を促進するため、医療スタッフの医療現場のニーズを発表するニーズ発表会を下記のとおり開催いたします。

会場

オンライン（Zoomウェビナーでの配信）

※事前にzoomのインストールが必要です

参加費
無料

対象

自社の技術を医療分野でも活用したい！！と考える道内ものづくり企業、IT企業
～ 各回定員 100名 ～

日時

第1回 12月3日（木）

14:30～15:30

■ニーズ発表 10件

ニーズ詳細は裏面をご覧ください。

第2回 12月4日（金）

14:30～15:30

■ニーズ発表 11件

ニーズ詳細は裏面をご覧ください。

下記申込書兼秘密保持に関する申し合わせに記載の上、メールもしくは、FAXにて申込下さい。※メールの場合は、下記「申し合わせ」をメール本文に記載下さい。

申込期限：令和2年11月27日（金）

申込先：北海道経済部産業振興局産業振興課 渋田

FAX:011-232-2139

Mail:shibuta.tomoyo@pref.hokkaido.lg.jp

（参加申込書兼秘密保持に関する申し合わせ）

参加します 12月3日 12月4日 ※日付に○を付けて下さい

企業名:	住所:	電話:
------	-----	-----

氏名:	所属	Mail:
-----	----	-------

氏名:	所属	Mail:
-----	----	-------

氏名:	所属	Mail:
-----	----	-------

ニーズ発表会の参加にあたり、知り得た情報を第三者に漏洩しないことを誓約します。また、ニーズ発表会は、発表者との共同開発の実現を目的とするものであり、その目的以外では使用、複製しないことを誓約します。

～ 発表ニーズ一覧 ～

12月3日（木）14：30～15：30

	分類	現場の現状、問題点、ニーズ
1	霜にも強い冷凍母乳保管ケース用ネームホルダー	母乳を授乳パックに入れ冷凍庫で保管しているが、霜により名前などが判別しにくくなる。
2	ドレーン固定用テープ	カテーテルチューブをΩ固定する際、伸縮テープを毎回カットして自作している。予めカットして10数枚単位でセットされていると便利。
3	ベット高さ連動型テーブル	ベットの高さを変更する際に、足下などのオーバーテーブルに接触し危険。ベットの高さとテーブルの高さが連動すると良い。
4	膝手術後クーリングパック	術後患部のクーリングを行う際に、クーリングパックの固定があまいと凍傷などの危険がある。関節部分に上手くフィットしずれないパックがあると良い。
5	杖のかわりにもなる点滴スタンド	院内では、点滴スタンドを歩行器や杖としても使用する患者さんが多い。買物袋などを掛けられるとなお便利。
6	床用ディスポシート	検査室では、消毒液や血液などの汚れが発生するため症例ごとに床を清掃が必要がある。床に敷け、段差の無い使い捨てシートがあると良い。
7	超大型除菌シート	現状のアルコール除菌シートは、大型の医療機器や検査室全体を清拭するには小さすぎる。現状の倍くらいのサイズがあると効率的。
8	清拭しやすい患者固定バンド	放射線検査では、患者の落下防止のため抑制バンドを用いているが、アルコールでは消毒が不十分。感染予防のため清拭しやすかつX線も通し、確実に固定できる抑制バンドがあると良い。
9	CT検査用腕支持棒	CTでは、仰臥位で腕を挙上して行うことが多く、つかむための補助具は存在しているが、取手付きのものが存在せず、安定感が得られず腕が動いてしまう。
10	熱傷用防水シート	体位変換時もずれにくく、破れにくい、はじめからベットのサイズに合った感染拡大防止型ディスプレイベットシート。

12月4日（金）14：30～15：30

	分類	現場の現状、問題点、ニーズ
1	点眼薬ケース	左右で多種類の点眼薬を使用している方が、退院後も間違えず、自己管理できる点眼薬ケース。
2	誤薬防止	高齢者（介護者）でも正しく内服管理できるよう、音声などでお知らせしてくれるような服薬ボックスがあると良い。
3	誤薬防止	誤薬がなかなか減らないことから、誤薬防止チェック機能のあるシステムがあると良い。
4	採血ロボット	現在看護師が行っている診療補助業務である採血、静脈留置針挿入をできるロボットの開発。
5	ナースコール関連	生体モニターの確認画面がナースステーションにしかない。夜勤時などは不在となることが多いため、常時携帯しているナースコール用子機で生体モニターの異常を早く確認したい。
6	抗菌性フットポンプ	フットポンプは、静脈血栓症予防に必須だが通気性が悪く、不快感を訴える患者さんが多い。
7	軽量小型心電図モニター送信機	心電図モニター装着患者にとって、送信機の大きさと重さは体位変換の妨げになり拘束感が大きい。軽量化、小型化、コードレス化で改善したい。
8	ベビーコット（新生児用キャリアベット）	狭い新生児室では、空きコットの収納に場所をとっている。未使用時に収納しやすいと良い。
9	ドレーン挿入部の防水保護用ドレッシング材料	患者がシャワー浴を行う際、ドレーン挿入部位を簡便に広範囲に保護する材があれば、患者の自己管理で入浴ができるようになる。
10	軟膏落とし	高齢者など皮膚の脆弱な患者が多く、軟膏が十分落とせず処置に苦労している。皮膚に負担のかからない軟膏落としがあると良い。
11	ベットサイド環境を改善するタブレット	入院時の説明や、院内の案内、選択食など、それぞれ別のペーパーで説明しているものを、一つのタブレットで説明できれば良い。家族との面会も。